

教科・種目名 美術

採 択 基 準	基 本 観 点	発 行 者 名
		9 開隆堂
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫 別表1	<p>◇1年を1冊、2、3年を1冊の合計2冊で構成している。</p> <p>◇「絵や彫刻など」19題材。「デザインや工芸など」23題材。「学びの資料」19項目。さらに独立した「鑑賞で学ぶこと」10題材「まとめ」4題材で構成している。</p> <p>◇各題材において、1題材見開き2ページを基本として取り上げている。</p> <p>◇各題材において、表現と鑑賞を密接に関連付けており、表現と鑑賞を同時に学習できるように考慮されている。</p> <p>◇生徒作品には「作者の言葉」「解説」などが添えられている。</p> <p>◇折り込みの見開きのページでは様々な時代の作家の作品を大きく記載することで、表現の可能性の広がりを実感できるように工夫されている。伊藤若冲の「升目描き」では部分の実物大見本と全体図が並べて掲載している。また池田学、ダミアンハーストなど現代の作家の作品も大きく取り上げている。</p>
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮 別表2	<p>◇様々な題材をまんべんなく扱っている。各題材の項目では様々な作品を幅広く紹介し、技法などは「学びの資料」で紹介されている。</p> <p>◇描写の技法の紹介では水彩絵の具を中心に紹介されている。また、構図の捉え方も具体的な例を提示されており分かりやすい。</p> <p>◇遠近法、映像、アニメ、漫画などの具体的な例を過去の作品から最新の物まで幅広く紹介されており、表現の目標を分かりやすく提示されている。</p> <p>◇各題材において具体的な素材や加工の手順についての解説がある。</p> <p>◇それぞれの題材において、時代や国にとらわれず様々な作品の例を提示することで、作品をどのように制作していけば良いかの道筋をイメージしやすくしている。</p>

発 行 者 名	
33 光村	116 日文
<p>◇1年を1冊、2、3年を1冊の合計2冊で構成している。</p> <p>◇絵や彫刻など」23題材。「デザインや工芸など」16題材。「学びを支える資料」26項目で構成している。</p> <p>◇各題材において、1題材見開き2ページを基本として取り上げている。ただし、題材によっては4～6ページ構成で取り上げている。</p> <p>◇ほとんどの題材において、まず関連する作品などの鑑賞資料を提示し、その後、実際の制作手順などを具体的に示している。生徒がどのように制作していけば良いか分かりやすく示されている。</p> <p>◇生徒作品には「作者の言葉」が添えられている。</p> <p>◇折り込みの見開きのページにおいては関連する日本と西洋の作品が並列して掲載されている。葛飾北斎「富嶽三十六景・神奈川沖浪裏」とゴッホ「星月夜」を比べることで、それぞれがどのように影響を与え合ったか視覚的にわかるように工夫されている。</p>	<p>◇1年を1冊、2、3年上巻・下巻に分冊として2冊とし、合計3冊で構成している。</p> <p>◇絵や彫刻など」30題材。「デザインや工芸など」25題材。「学びを支える資料」31項目で構成している。</p> <p>◇各題材において、1題材見開き2ページを基本として取り上げている。鑑賞の項目では折り込みページなどを挿入している。</p> <p>◇各題材において、表現と鑑賞を密接に関連付けており基本的に表現と鑑賞を同時に学習できるように考慮されている。</p> <p>◇生徒作品には、吹き出しの形式で「作者の言葉」が添えられている。</p> <p>◇芸術作品を鑑賞の手がかりとして、折り込みの見開きページを挿入している。尾形光琳の「燕子花図屏風」は実際の屏風のように「折り曲げて鑑賞」できるように工夫されている。また原寸大での浮世絵の図版としての葛飾北斎「富嶽三十六景・神奈川沖浪裏」等が掲載されている。2・3を上下分冊としているため図版が大きい。</p>
<p>◇様々な題材をまんべんなく扱っている。各題材では作品例と制作手順、具体的技法を平行して紹介している。</p> <p>◇「学習を支える資料」では「描くための材料と用具」「作るための材料と用具」など項目ごとに整理されており、資料としても活用しやすい記述になっている。</p> <p>◇描写の指導の例では絵の具以外の素材（色鉛筆、パステル）にも触れている。版画やレタリング、紙、木、粘土などの紹介においても、必ず具体的な作例をあわせて提示し、目標を設定しやすいように工夫されている。</p> <p>◇映像作品や様々な材料の表現例などは技法、技術が充実しており分かりやすい。発想の広げ方について詳しく説明されている。映像作品の構想などにおいては話し合いのイラストなどで分かりやすく記述されている。</p>	<p>◇様々な題材をまんべんなく扱っている。「学習を支える資料」では基本的な技法を中心に紹介されている。</p> <p>◇各題材においての基本的な技法、手順について記載されている。発想の方法などについても具体的に記載されている。</p> <p>◇色彩項目で、素材の写真が充実しているので様々な発想の基として有効に使える。</p> <p>◇鑑賞用の資料の充実を図っている。浮世絵の制作過程を紹介するなど、表現の分野で触れた中身について、より充実させる方向性で記載されている。</p> <p>◇2・3年の教科書においては、具体的な制作手順の記載より資料としての作品の提示例の充実を計っている。</p>

採 択 基 準	基 本 観 点	発 行 者 名
		9 開隆堂
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮 別表3	<p>◇3年間で多様な表現方法の経験ができるように様々な分野の題材を配置されている。</p> <p>◇各題材において「学習のポイント」が示されている。これを手がかりに考えることができるようになっている。内容は各教材1つに絞ってあり、分かりやすいように工夫されている。</p> <p>◇ポイントごとに「作者の言葉」「地域の紹介」など考えるヒントとなるような記述がある。</p>
	(3) 児童が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮 別表4	<p>◇巻頭ページで、1年は美術とは何かについて取り上げている。2・3年では、これまで学んだことをより深く見つめ、今後に生かす意味での社会との関わりについて取り上げている。</p> <p>◇全ての題材に、生活の中の色や形、働きを実感させる内容を取り上げている。</p> <p>◇題材ごとに目標を資質・能力の三つの柱に基づき明記されている。</p> <p>◇学習ポイントをマークで示すとともに具体的に囲みで示し、題材での大切なことが自ら理解でき、学びが深まるよう工夫されている。</p> <p>◇制作過程や学習過程を示した事例が取り上げており、見通しを持って活動できるよう工夫されている。</p> <p>◇目次のページに、題材の内容などをそれぞれの分野ごとに、色や印で示し、それについての説明を掲載されている。</p> <p>◇全ての生徒たちに対応できるようカラーユニバーサルデザインや特別支援教育などインクルーシブ教育に対応したものになるよう配慮されている。</p>

発 行 者 名	
33 光村	116 日文
<p>◇3年間で多様な表現方法の経験ができるように様々な分野の題材を配置している。</p> <p>◇表現の具体例として「みんなの工夫」という項目を設けており、実際の制作過程を提示することによってイメージしやすくなるよう工夫している。</p> <p>◇各教材の「鑑賞」「表現」のそれぞれの項目において、着眼点や話合いのポイント、制作のポイントなどが細かく提示されている。</p> <p>◇鑑賞の題材においてトレーシングペーパーを綴じ込み、上から記入できるようにするなど、生徒が作業しながら考えられるような工夫が見られる。</p>	<p>◇3年間で多様な表現方法の経験ができるように様々な分野の題材を配置している。</p> <p>◇すべての教材において「造形的な視点」で着目してほしい点を吹き出し形式で示している。これを手がかりに考えることができるようになっている。問いかけはシンプルで分かりやすい。</p> <p>◇社会との関わりについて考えさせる資料を取り上げている。</p>
<p>◇巻頭ページで1年は美術とは何かについて取り上げている。2・3年では美術と生活との関わりについて取り上げている。</p> <p>◇デザイン・工芸の分野では表現や鑑賞を行う題材を中心に、生活の中の造形や美術の働きを実感させる内容を取り上げている。</p> <p>◇題材ごとに目標を「表現」「鑑賞」の領域ごとにまとめている。</p> <p>◇「表現」と「鑑賞」の相互関係を意識し、1つの題材の中で一体的に学べるように構成されている。</p> <p>◇全ての題材において、導入段階で鑑賞活動を提示するとともに、生徒が主体的に作品を鑑賞し、かつ対話が生まれるような問いかけが示されている。</p> <p>◇「表現」と「鑑賞」の活動をマークで表示し、学びの流れが明確にされている。</p> <p>◇制作過程を示すことで見通しを持って取り組める工夫されている。</p> <p>◇目次のページに題材の分野や内容ごとの色や印による分類と、その印の意味についての説明を掲載されている。</p> <p>◇全ての生徒たちに対応できるようカラーユニバーサルデザインや特別支援教育などインクルーシブ教育に対応したものになるよう配慮されている。</p>	<p>◇巻頭ページで1年は図画工作から美術へのつながりと美術での3年間の学びの地図として、視覚的に分かりやすく示されている。また、2・3年上では学びの実感と広がり、2・3年下では学びの探求と未来としての学習について取り上げている。</p> <p>◇デザイン・工芸の分野では他者意識が起点となる題材を多く設定し、生活の中の問題発見・解決能力の育成に配慮されていることで、造形や美術の働きを実感できるものとして取り上げている。</p> <p>◇題材ごとに目標を資質・能力の三つの柱に基づき明記されている。</p> <p>◇表現と鑑賞が一体的に学習でき、総合的に資質・能力が高まるよう工夫されている。また、「造形的な視点」として、具体的な問いかけで気づきを促す手立ても工夫している。</p> <p>◇制作・学習のポイントを示されており、見通しを持って活動できるよう工夫されている。</p> <p>◇目次のページに題材の項目や内容をそれぞれの分野ごとに色で示されており、使われているマークについても説明がある。</p> <p>◇全ての生徒たちに対応できるようカラーユニバーサルデザインや特別支援教育などインクルーシブ教育に対応したものになるよう配慮されている。</p>

教科・種目名 美術

採 択 基 準	基 本 観 点	発 行 者 名
		9 開隆堂
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(3) 児童が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮 別表4	◇生活や社会の中の美術や美術文化に関わる内容を幅広く取り上げ、生徒の自立を促し、美術を通じた人間教育の実現がはかれるよう工夫されている。 ◇美術館を紹介する内容が取り上げられている。 ◇1年からキャリア教育の視点に立った題材やコラムが取り上げられている。2・3年では芸術家のみならず様々な分野で活躍する人のコラム等を掲載し、社会での役割や将来展望を考えるきっかけとしている。
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い 別表5	◇現代的な諸課題(環境や地域文化・伝統文化など)に対応する題材を多く掲載することで、生徒の持続可能な社会への関心や主体的な取り組みを促すよう配慮されている。
	(5) 他の教科等との関連 別表6	◇各題材は教科や特別の教科 道徳、特別活動を明記し、美術の学習と関連付けて学習できるよう配慮されている。 ◇特別の教科 道徳についてだけでなく、関連する教科についても、その内容項目が示されている。
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫 別表7	◇1年では美術作品よりも生徒作品を多く取り上げ、学年が上がるごとに生徒作品より美術作品を多く取り上げている。 ◇取り上げている作家は、1年44名、2・3年111名で国内外問わず多彩・多様な作家が取り上げられている。 ◇折り込みページを設けて、作品の全体像をより大きく見せるとともに、その部分を原寸大で見せることで実際の作品がリアルにイメージできるように工夫されている。 ◇全体を通して、読みやすさに配慮されている。フォントや大きさ、使用しているマークなど識別しやすい色や形で表示されている。

発 行 者 名	
33 光村	116 日文
◇地域と美術とのつながりや、生活や社会の中の美術や文化が幅広く取り上げられている。 ◇美術館の役割や活用例を紹介する内容が取り上げられている。 ◇1年からキャリア教育の視点に立ったコラムが取り上げられている。	◇生活や地域のつながり、社会の中の美術や美術文化に関わる内容を幅広く取り上げ、美術の働きを実感し、自らの生活に生かせるような事例が示されている。 ◇美術館の特徴を紹介する内容が取り上げられている。 ◇1年から芸術家だけでなく様々な分野の内容を掲載し、キャリア教育の視点に立った題材やコラムが取り上げられている。
◇現代的な諸課題(環境や地域文化・伝統文化など)に対応する題材を多く掲載することで、生徒の持続可能な社会への関心や主体的な取り組みを促すよう配慮されている。	◇現代的な諸課題(環境や地域文化・伝統文化など)に対応する題材を多く掲載することで、生徒の持続可能な社会への関心や主体的な取り組みを促すよう配慮されている。
◇他教科での関連する題材にはコラムを設け、他教科での学びを意識しながら、表現や鑑賞の活動が行えるよう配慮されている。 ◇特別の教科 道徳については、マークとともに内容項目を示し、意識して学ぶことができるように工夫されている。	◇各題材は学びの広がりや知識のつながりに配慮し、教科や特別の教科 道徳、特別活動などと横断して活用できるよう配慮されている。 ◇特別の教科 道徳については、めあてを明記されている。
◇1年では生徒作品と美術作品を概ね同数取り上げ、2・3年では生徒作品よりも美術作品を多く取り上げている。 ◇取り上げている作家は、1年64名、2・3年122名で国内外問わず多彩・多様な作家が取り上げられている。 ◇折り込みページを設けており、関連性の高い作品を裏表に配置し比較して鑑賞することで作品の見方や感じ方を深められるよう工夫されている。 ◇鑑賞図版は本物に近い感覚(風合)で鑑賞することができるよう、図版の見せ方や紙質を工夫されている。 ◇全体を通して、読みやすさに配慮されている。フォントや大きさ、使用しているマークなど識別しやすい色や形で表示されている。	◇1年では美術作品よりも生徒作品を多く取り上げているが、学年が上がるごとに生徒作品よりも美術作品を多く取り上げている。 ◇取り上げている作家は、1年48名、2・3年上106名、2・3年下39名で国内外問わず多彩・多様な作家が取り上げられている。 ◇折り込みページを設けており、紙サイズを生かして原寸大で見せることができ、筆づかいや描き方などの技法、作者の思いを考えたり、思考を深めたりできるよう工夫されている。 ◇全体を通して、読みやすさに配慮されている。フォントや大きさ、使用しているマークなど識別しやすい色や形で表示されている。

教科・種目名 美術 調査研究事項
別表1

調査項目		9 開隆堂			
		【1年】	【2・3年】		
学習指導要領に示す目標に 従っているか。表現や鑑賞の 幅広い活動を通して、造形的 な見方・考え方を働かせて資 質・能力が育成できるよう、	内容のまとめりに取り上げ られている題材	表現の活動	感じ取ったことや考えたことを 基に、絵や彫刻などに表現 する活動	描く ◇見ることからの発見 ◇心ひかれる風景 ◇写し取る形	◇風景が語るもの ◇自分と向き合う ◇想像の世界を表す ◇水墨画の世界 ◇形と色彩が織りなすイメ ージ ◇版表現の可能性
			つくる	◇人の姿・動き ◇よみがえる材料 ◇生命力を感じて	◇この場所、この場面 ◇形を研ぎ澄ませて ◇場と形の響き合い
		目的や機能などを考え、デザ インや工芸などに表現する活 動	描く	◇形と色彩のメッセージ ◇模様デザイン ◇ロゴマークで印象づける	◇ピクトグラムとサイン計画 ◇ポスターで伝える ◇錯視の効果を生かして ◇誰にでも分かりやすく伝 える
	鑑賞の活動	美術作品など に関する鑑賞	感じ取ったこ とや考えたこ とを基にした 表現に関する 鑑賞	◇伊藤若冲の世界 ◇私にとって作ること	◇ゴッホと自画像 ◇生命観であふれる表現 ◇祈りの造形、仏像の美 ◇ルネサンス、人間の発 見 ◇主題を決めるロマン主 義 ◇光をとらえる印象派 ◇ゲルニカで伝えたかっ たこと ◇美術で世界と向き合う
			鑑賞の活動	感じ取ったこ とや考えたこ とを基にした 表現に関する 鑑賞	◇伊藤若冲の世界 ◇私にとって作ること
		鑑賞の活動	鑑賞の活動	鑑賞の活動	鑑賞の活動

38 光村		116 日文	
【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
◇見つめ、感じ取り、描く ◇版であらわす楽しさ ◇心ひかれるこの風景 ◇見えないものをあらわす	◇風景に思いを重ねて ◇あれ？どうなっているの ◇墨で描く楽しさ ◇形と色の挑戦 ◇今の自分、これからの自 分	◇見つめると見えてくるも の ◇なぜか気になる情景 ◇人間っておもしろい ◇墨と水の出会い ◇刷って出会う楽しさ	【上】 ◇視点の冒険 ◇構図に思いをのせて ◇水と筆を操る 【下】 ◇今を生きる私へ ◇空想は現実を越えて ◇漫画の魅力 ◇きらめき ゆらめき
◇自然の色や形を見つめ て ◇人のしぐさをとらえる ◇材料に命を吹き込む	◇想像の生物をつくる ◇環境とともに生きる彫刻 ◇躍動感を捉える ◇思い出を形に	◇じっくり見ると見えてくる ◇材料に命を吹き込む	【上】 ◇瞬間の美しさを形に ◇動き出しそうな動物たち ◇心のイメージを形に 【下】 ◇仲間との交流の中から ◇イメージを追い求めて
◇生活をいろどる文様 ◇文字で楽しく伝える ◇印象に残るシンボルマ ーク	◇メッセージを伝える ◇分かりやすく情報を伝え る	◇広がる模様の世界 ◇文字っておもしろい ◇印象に残るシンボルマ ーク ◇わくわくコミュニケーション	【上】 ◇ひと目で伝えるための 工夫 【上】 ◇その1枚が世界を動か す
◇気持ちを伝えるデザイン ◇生活の中の焼き物 ◇木と親しむ暮らし ◇絵から物語をつむぐ ◇みんなのためのデザイン ◇季節感のある暮らしを楽しむ ◇あかりがつくる空間 ◇地域の魅力を伝える	◇パッケージで魅力を伝 える ◇本の形で表現しよう ◇安心と安全のデザイン ◇空間を快適に生き生き と ◇明かりの形 ◇型から生まれる形 ◇織る、編む、組む ◇木で作る遊びの心	◇絵の中をよく見ると 【上】 ◇季節を楽しむ心 ◇ジジチカピカポッポッパッ ◇つくって使って味わう工芸 ◇暮らしやすさのデザイン 【下】 ◇自分へ送る卒業記念品 ◇私の色 みんなの色 ◇魅力を伝えるパッケージ ◇動きを生かして印象的に ◇心がほっとなごむもの ◇人が生きる社会と未来	
◇レオナルドとその時代 ◇空想の世界をへようこそ ◇北斎からゴッホへ ◇ゲルニカ/明日への願い ◇折って、切って、巻いて ◇暮らしの中の木の工芸 ◇暮らしに息づく土の造形			【上】◇なんでこれが美術なの ◇文化の出会いがもたらしたもの 【下】 ◇ルネサンスが目指したもの ◇あの日を忘れない

教科・種目名 美術 調査研究事項

調査項目				9 開隆堂		
				【1年】	【2・3年】	
学習指導要領に示す目標に従い、表現や鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせて	内容のまとまりごとに取り上げられている題材	鑑賞の活動	美術作品などに関する鑑賞	目的や機能などを考えた表現に関する鑑賞	◇機能と美しさの調和 資料ページ ◇文字を活用する	◇伝統と創造
			美術の働きや美術文化に関する鑑賞	美術の働きに関する鑑賞	◇あったらいいな、を形に	◇造形表現のパワー ◇生活に生きる伝統工芸 ◇私たちの社会と美術
			美術文化に関する鑑賞	◇祭りの造形	◇日本らしさ①物語を伝える絵巻物の世界 ◇日本らしさ②金の表現、墨の世界 ◇日本らしさ③琳派のデザイン性 ◇日本らしさ④浮世絵、庶民の楽しみ ◇日本らしさ⑤美術がつながる世界と日本 ◇祈りの造形、仏像の美 ◇リノベーション、使い続ける工夫	
		「A表現」及び「B鑑賞」の相互の関連付けを図る配慮		◇基本的に表現と鑑賞を一体的に学習できるように考慮されている。		◇表現と鑑賞の双方に重なる考え方や造形の要素が随所で示されており、生徒がどのような考え方で思考し、表現したり鑑賞したりしていけば良いかが分かりやすく示されている。

38 光村		116 日文	
【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
◇形や材料を比べてみよう	◇さまざまな椅子のデザイン	◇自然の美しさから生まれた	【上】 ◇憩いを生み出す場所
	◇心安らぐ場をつくる		【上】 ◇手から手へ受け継ぐ ◇デザインで人生を豊かに 【下】 ◇どこまで修復すべきか ◇笑顔が生まれる鉄道デザイン
◇風神雷神—受け継がれる日本の美術 ◇世界の仮面と出会う	◇絵巻物と漫画の表現	◇美のタイムトラベル ◇屏風、美のしかけ ◇祭りを彩る造形	【上】◇浮世絵はすごい 【下】◇仏像に宿る心
◇ほとんどの題材において、まず関連する作品などの鑑賞資料が提示され、その後、実際の制作手順をたどりながら表現方法に着目できるよう配慮されている。		◇基本的に表現と鑑賞を一体的に学習できるように考慮されている。	
◇表現と鑑賞の双方に重なる考え方や造形の要素が随所で示されており、生徒がどのような考え方で思考し、表現したり鑑賞したりしていけば良いかが分かりやすく示されている。		◇表現と鑑賞の双方に重なる考え方や造形の要素が随所で示されており、生徒がどのような考え方で思考し、表現したり鑑賞したりしていけば良いかが分かりやすく示されている。	
◇表現中心の題材は、「鑑賞」→「表現」→「鑑賞」の流れで組み立てられており、表現と鑑賞の双方で中心となる考えを意識し関連付けながら学習できるよう工夫されている。		◇芸術作品を、原寸大の表示や見開きページなどで示し、鑑賞の手がかりになるよう工夫されている。「美術2・3」は上・下の分冊にしているため図版が大きい。	
◇生徒作品には「作者の言葉」が添えられており、作品への興味・関心を高めるとともに、発想や構想の手がかりになるよう配慮されている。		◇生徒作品には吹き出しの形式で「作者の言葉」が添えられており、作品への興味・関心を高めるとともに、発想や構想の手がかりになるよう配慮されている。	

教科・種目名 美術 調査研究事項
別表2

調査項目	9 開隆堂	
	【1年】	【2・3年】
造形的な視点を豊かにするための必要な知識として整理された[共通事項]については、生徒が多様な視点から実感的に理解できるよう配慮されているか。	[共通事項]の内容についての記述	<p>◇資質・能力の三つの柱に沿って題材の目標が三つに分けて示されており、題材ごとの造形的な視点が教師生徒ともに意識しやすい。</p> <p>◇巻末に[共通事項]に関連した資料があり、適宜活用できるよう工夫されている。</p> <p>◇各題材において「学習のポイント」が示されており、これを手がかりに考えることができるようになっている。</p>
技能については、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるよう配慮がされているか。	材料・用具・技法についての記述	<p>資料ページ</p> <p>◇鉛筆で表す</p> <p>◇構図をとらえる</p> <p>◇絵の具で表す</p> <p>◇文字を活用する</p> <p>◇紙や木を切る・削る</p> <p>◇焼き物の成形</p> <p>◇作品を展示する</p> <p>◇色を学ぶ、色を知る</p> <p>※「美術1」においては基本的な技法について押さえている。</p>
材料や用具の特性を生かし、意図に応じて工夫して表す配慮	<p>◇描写の技法の紹介では水彩絵の具を中心に紹介している。また、構図の捉え方も具体的な例を提示しており、材料や用具の特性を生かし、意図に応じて工夫することが分かりやすい。</p>	<p>資料ページ</p> <p>◇奥行き表現</p> <p>◇版画の種類</p> <p>◇金属や石を加工する</p> <p>◇染める・編む</p> <p>◇映像のメディアを活用する</p> <p>◇漫画の試み</p> <p>◇アニメーションの技法</p> <p>※「美術2,3」では映像やアニメなどに関して詳しい記述が見られる。</p>

38 光村		116 日文	
【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
◇各題材の目標は、1から2の文章で構成されており、その中に造形的な視点が入れ込まれている。	◇各題材の目標は、1～2の文章で構成されており、その中に造形的な視点が入れ込まれている。	◇資質・能力の三つの柱に沿って題材の目標が三つに分けて示されており、題材ごとの造形的な視点が教師生徒ともに意識しやすい。	◇資質・能力の三つの柱に沿って題材の目標が三つに分けて示されており、題材ごとの造形的な視点が教師生徒ともに意識しやすい。
◇巻末に[共通事項]に関連した資料があり、適宜活用できるよう工夫されている。	◇巻末に[共通事項]に関連した資料があり、適宜活用できるよう工夫されている。	◇巻末に[共通事項]に関連した資料があり、適宜活用できるよう工夫されている。	◇巻末に[共通事項]に関連した資料があり、適宜活用できるよう工夫されている。
◇「鑑賞」の見出しの問いかけは、着眼点や、多様な視点から見方や感じ方を広げることができるよう工夫されている。	◇「鑑賞」の見出しの問いかけは、着眼点や、多様な視点から見方や感じ方を広げることができるよう工夫されている。	◇すべての題材において「造形的な視点」で着目してほしい点が吹き出しで示されている。	◇すべての題材において「造形的な視点」の問いかけが吹き出しで示されており、分けやすい。問いかけは考えることを促すものが多い。
◇[共通事項]を視点に、作者の意図を考察することや、話し合う事などが提示されている。	◇[共通事項]を視点に、作者の意図を考察することや、話し合う事などが提示されている。	◇「鑑賞」の見出しの問いかけは、着眼点や、多様な視点から見方や感じ方を広げることができるよう工夫されている。	◇「鑑賞」の見出しの問いかけは、着眼点や、多様な視点から見方や感じ方を広げることができるよう工夫されている。
資料ページ	資料ページ	資料ページ	資料ページ
◇どれで描く？どれで塗る？	◇写真や映像を撮影する。	◇鉛筆で描く/水彩で描く	◇水墨画の表現/写真で表現する
◇描いてみよう	◇映像で広がる世界	◇さまざまな技法で描く	◇立体を描く/人物をつくる
◇さまざまな描き方	◇金属でつくる	◇遠近感を表す	◇木でつくる/金属でつくる
◇版画の楽しみ	◇石でつくる	◇文字の基本	◇木でつくる/金属でつくる
◇文字をデザインする	◇材料の可能性	◇木版画/コラグラフ	◇木でつくる/金属でつくる
◇紙でつくる	◇色を組み合わせて	◇材料を知ろう	◇木でつくる/金属でつくる
◇粘土でつくる	◇日本の伝統色	◇木工の技法	◇木でつくる/金属でつくる
◇木でつくる	※「美術2・3」においては発展的な技法について押さえている。素材の違いなどに具体的な記述が見られる。	◇焼き物を作る	◇木でつくる/金属でつくる
◇形の世界を知ろう		◇自然界や身の回りにある形や色彩	◇木でつくる/金属でつくる
◇色や光の特徴を知ろう		◇色彩の基本・仕組み	◇木でつくる/金属でつくる
※「美術1」においては基本的な技法について押さえている。各項目において詳しく解説されている。		※「美術1」においては大きめの図版で分かりやすい記載がなされている。	※「美術1」においては大きめの図版で分かりやすい記載がなされている。
◇絵の具以外の描画材(色鉛筆、パステル)にも触れている。またこれ以外の素材、技法の紹介においても、必ず具体的な作例を提示し、イメージしやすい工夫がなされている。	◇項目ごとに整理されており、資料として活用しやすい構成になっている。映像作品や様々な材料の表現例などは技法、技術が充実しており、材料や用具の特性を生かした意図と表現の工夫が分かりやすい。	◇様々な技法について、まんべんなくおさえられている。具体例は基本を押さえているが発展性は少ない。	◇「学びを支える資料鑑賞」において、浮世絵の制作過程を紹介するなど、表現の分野で触れた中身について、より充実させる資料が工夫されている。

教科・種目名 美術 調査研究事項

調査項目		9 開隆堂	
		【1年】	【2・3年】
技能については、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるよう配慮がされているか。	材料や用具の特性を生かし、意図に応じて工夫して表す配慮	◇各所の問いかけや、作品図版に添えられた「作者の言葉」から、材料や用具の特性を生かし、意図に応じて工夫して表していることが分かるように工夫されている。	◇各所の問いかけや、作品図版に添えられた「作者の言葉」から、材料や用具の特性を生かし、意図に応じて工夫して表していることが分かるように工夫されている。
	材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すことができる配慮	◇基本的な手順について記載されているが、途中経過の説明の資料などは多くはない。	◇様々な素材の作品の例を提示することで、イメージを広げる手がかりを示している。 ◇石材の加工手順、染色、編み込みの手順についての解説がある。

38 光村		116 日文	
【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
◇各所の問いかけや、作品図版に添えられた「作者の言葉」から、材料や用具の特性を生かし、意図に応じて工夫して表していることが分かるように工夫されている。	◇各所の問いかけや、作品図版に添えられた「作者の言葉」から、材料や用具の特性を生かし、意図に応じて工夫して表していることが分かるように工夫されている。	◇各所の問いかけや、作品図版に添えられた「作者の言葉」から、材料や用具の特性を生かし、意図に応じて工夫して表していることが分かるように工夫されている。	◇各所の問いかけや、作品図版に添えられた「作者の言葉」から、材料や用具の特性を生かし、意図に応じて工夫して表していることが分かるように工夫されている。
◇描写の技法、素材の説明、版画やレタリング、紙、木、粘土などの手順について作例を示しながら具体的に説明されており分かりやすい。	◇写真や映像、金属や石などの技法が、素材の写真とともに掲載されている。作品例も示しながら具体的に説明されており分かりやすい。	◇基本的な手順についての記載はされているが、途中経過の説明の資料よりも作例の充実が図られている。	◇具体的な制作手順の記載より、資料としての作品の提示例の充実が図られている。

別表3

調査項目		9 開隆堂	
		【1年】	【2・3年】
や感じ方を深めたり、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、	多様な表現方法の活用	映像メディアの活用を図る題材	◇映像メディアを活用する
	日本及び諸外国の作品の独特な表現形式の活用を図る題材	◇伊藤若冲の世界 ◇文様のデザイン	◇水墨画の世界 ◇日本らしさ①物語を伝える絵巻物の世界 ◇日本らしさ②金の表現、墨の世界 ◇日本らしさ③琳派のデザイン性 ◇日本らしさ④浮世絵、庶民の楽しみ ◇日本らしさ⑤美術がつなぐ世界と日本 ◇美術がつなぐ世界と日本 ◇造形表現のパワー ◇祈りの造形仏像の美 ◇日本の伝統色と配色文化

38 光村		116 日文	
【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
	◇写真や映像を撮影する ◇映像で広がる世界		【上】 ◇構図に思いをのせて 【下】 ◇動きを生かして印象的に ◇動画を作る
◇風神雷神—受け継がれる日本の美 ◇生活を彩る文様 ◇世界の仮面と出会う	◇墨で描く楽しさ ◇北斎からゴッホへ ◇絵巻物と漫画の表現 ◇(色の世界)日本の伝統色 ◇海を越えた文化交流 ◇日本の世界文化遺産	◇墨と水の出会い ◇屏風、美のしかけ ◇祭りを彩る造形	【上】 ◇水と筆を操る ◇浮世絵はすごい ◇文化の出会いがもたらした物 ◇手から手へ受け継ぐ 【下】 ◇仏像に宿る心 資料ページ 【上】 ◇北斎の大波 ◇水墨画の表現 ◇日本美術と世界の美術の歩み ◇日本の伝統色 【下】 ◇火焰型土器 ◇さまざまなアートに触れよう ◇日本の世界文化遺産 ◇受け継ぐ伝統と文化 ◇仏の種類—美術文化の継承

教科・種目名 美術 調査研究事項

調査項目		9 開隆堂	
		【1年】	【2・3年】
<p>や感じ方を深めたりすることができる構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方、主観を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術の働きなどについて考え、造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、</p>	多様な表現方法の活用	<p>漫画やイラストレーション、図などの活用を図る題材</p> <p>◇形と色彩のメッセージ ◇模様デザイン ◇ロゴマークで印象づける</p>	<p>◇ピクトグラムとサイン計画 ◇ポスターで伝える ◇錯視の効果を生かして ◇誰にでも分かりやすく伝える ◇パッケージで魅力を伝える ◇安心と安全のデザイン ◇空間を快適に生き生きと ◇漫画の試み ◇アニメーションの技法</p>
	地域の身近なものや伝統的なものを取り上げた題材	<p>◇よみがえる材料 ◇祭りの造形</p> <p>資料ページ ◇作品を展示する</p>	<p>◇この場所、この場面 ◇形を研ぎ澄ませて ◇場と形の響き合い ◇造形表現のパワー ◇明かりの形 ◇型から生まれる形 ◇織る、編む、組む ◇木で作る遊びの心 ◇生活に生きる伝統工芸 ◇伝統と創造</p>
	共同で行う創造活動の題材	<p>◇よみがえる材料 ◇ロゴマークで印象づける</p>	<p>◇空間を快適に生き生きと ◇型から生まれる形</p> <p>資料ページ ◇共に学ぶ美術</p>
	指導の充実と学習の深まりのために、言語活動の充実を図るための工夫	<p>アイデアスケッチで構想を練ったり、言葉で考えを整理したりする言語活動の事例</p> <p>◇形と色彩のメッセージ ◇ロゴマークで印象づける</p>	<p>◇ピクトグラムとサイン計画 ◇ポスターで伝える</p>

38 光村		116 日文	
【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
<p>◇生活をいろいろ文様 ◇文字で楽しく伝える ◇印象に残るシンボルマーク</p> <p>資料ページ ◇(生活の中の文字)文字をデザインする</p>	<p>◇絵巻物と漫画の表現 ◇メッセージを伝える ◇分かりやすく情報を伝える ◇みんなのためのデザイン</p> <p>資料ページ ◇(色の世界)色を組み合わせて</p>	<p>◇広がる模様の世界 ◇文字っておもしろい ◇印象に残るシンボルマーク ◇わくわくコミュニケーション</p>	<p>【上】 ◇ひと目で伝えるための工夫 ◇その1枚が世界を動かす ◇絵巻物の世界</p> <p>【下】 ◇漫画の魅力 ◇私の色 みんなの色</p>
<p>◇木と親しむ暮らし</p> <p>資料ページ ◇(生活の中の文字)文字をデザインする</p>	<p>◇環境とともに生きる彫刻 ◇季節感のある暮らしを楽しむ ◇地域の魅力を伝える ◇心安らぐ場をつくる</p> <p>資料ページ ◇(つくるための材料と用具)材料の可能性 ◇日本の伝統工芸 ◇地域と美術のつながり</p>	<p>◇印象に残るシンボルマーク ◇祭りを彩る造形 資料ページ ◇材料を知ろう ◇日常の中の美術 ◇美術館へ行こう</p>	<p>【上】 ◇手から手へ受け継ぐ ◇ひと目で伝えるための工夫 ◇憩いを生み出す場所</p> <p>【下】 ◇どこまで修復すべきか ◇私の色 みんなの色</p> <p>資料ページ 【上】 ◇暮らしに息づくパブリックアート 【下】 ◇受け継ぐ伝統と文化</p>
	<p>◇分かりやすく情報を伝える</p>		<p>【下】 ◇仲間との交流の中から ◇私の色、みんなの色 ◇動きを生かして印象的に ◇人が生きる社会と未来</p>
<p>◇巻頭ページで、アイデアスケッチなどの言語活動で発想や構想を練ることが紹介されている。 ◇生活をいろいろ文様 ◇文字で楽しく伝える ◇印象に残るシンボルマーク</p>	<p>◇風景に思いを重ねて ◇あれ?どうなっているの ◇形と色の挑戦 ◇躍動感を捉える ◇今の自分、これからの自分 ◇メッセージを伝える ◇分かりやすく情報を伝える ◇地域の魅力を伝える</p> <p>資料ページ ◇発想を広げる</p>	<p>◇なぜか気になる情景 ◇広がる文様の世界 資料ページ ◇発想・構想の手立て</p>	<p>【上】 ◇心のイメージを形に ◇季節を楽しむ心 ◇暮らしやすさのデザイン</p> <p>【下】 ◇仲間との交流の中から ◇魅力を伝えるパッケージ ◇動きを生かして印象的に ◇人が生きる社会と未来</p>

教科・種目名 美術 調査研究事項

調査項目		9 開隆堂	
		【1年】	【2・3年】
<p>方を深めたりすることができるよう配慮されているか。</p> <p>構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ</p> <p>働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し</p> <p>造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の</p>	<p>指導の充実と学習の深まりのために、言語活動の充実を図るための工夫</p>	<p>[作品などについて説明し合う(1年) / 作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合う(2・3年)]などして対象の見方や感じ方を広げるなどの言語活動の事例数</p>	<p>◇伊藤若冲の世界</p> <p>◇私にとって作ること</p> <p>◇形と色彩のメッセージ</p>
			<p>◇ピクトグラムとサイン計画</p> <p>◇ポスターで伝える</p> <p>◇錯視の効果を生かして</p> <p>◇誰にでも分かりやすく伝える</p> <p>◇パッケージで魅力を伝える</p> <p>◇安心と安全のデザイン</p> <p>◇本の形で表現しよう</p> <p>◇木でつくる遊びの形</p> <p>◇伝統と創造</p> <p>◇ゲルニカで伝えたかったこと</p> <p>◇美術で世界と向き合う</p> <p>◇リノベーション使い続ける工夫</p> <p>◇私たちの社会と美術</p>

38 光村		116 日文	
【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
<p>◇版であらわす美しさ</p> <p>◇絵から物語をつむぐ</p> <p>◇風神雷神—受け継がれる日本の美</p> <p>◇仮面の世界と出会う</p>	<p>◇想像の生物を作る</p> <p>◇北斎からゴッホへ</p> <p>◇躍動感を捉える</p> <p>◇メッセージを伝える</p> <p>◇分かりやすく情報を伝える</p> <p>◇地域の魅力を伝える</p> <p>資料ページ</p> <p>◇発想を広げる</p> <p>◇写真や映像を撮影する</p>	<p>◇絵の中をよく見ると</p>	<p>【上】</p> <p>◇つくって使って味わう工芸</p> <p>【下】</p> <p>◇魅力あるパッケージ</p> <p>◇人が生きる社会と未来</p>

教科・種目名 美術 調査研究事項
別表4

調査項目		9 開隆堂		
		【1年】	【2・3年】	
自ら課題を見だし、必要な情報を収集し、課題解決していく学習過程について配慮されているか。	美術への関心を高めるための題材や事例	オリエンテーションの題材	<ul style="list-style-type: none"> ◇発見と創造 ◇図画工作から美術へ ◇学びの地図 ◇絵や彫刻で学ぶこと ◇デザインや工芸で学ぶこと 	<ul style="list-style-type: none"> ◇探求と継承 ◇絵や彫刻で学ぶこと ◇鑑賞で学ぶこと ◇デザインや工芸で学ぶこと ◇美術の力を生かして社会とかかわる
	掲載されているコラムの数と内容	<ul style="list-style-type: none"> 6箇所 ◇「チヌ」ゴミ広いプロジェクト ◇デザインのヒント ◇デザインの力で地域を変える～今治をデザインで活発に～ ◇登り窯による焼成 ◇アジアの獅子 ◇美術館でまちを活性化する～ターナー・コンテンポラリー～ 	<ul style="list-style-type: none"> 5箇所(※8箇所) ◇名古屋城 本丸御殿復元プロジェクト ◇暮らしに生きる美術 ※(落語という絵の具を使って) ※(個性を発見する) ※(目にしたものをから吸収する) ※(ゼロからつくる楽しさ) ◇東北スクール in Paris ◇ゲルニカで伝えたかったこと ◇漫画の試み(手塚治虫) 	

38 光村		116 日文	
【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
<ul style="list-style-type: none"> ◇うつくしい! ◇美術って何だろう? ◇美術で学ぶこと ◇デザインって何だろう 	◇うつくしい!	◇アニメーションの背景画から風景を見つめ直して	<ul style="list-style-type: none"> 【上】 ◇多彩な表現に挑むのはなぜだろう 【下】 ◇時代を超えて美を探究する思い
<ul style="list-style-type: none"> 11箇所 ◇何度も草花と向き合っていて ◇古典文学と屏風絵 ◇エッセイの敷き詰め模様 ◇漢字の成り立ち ◇オリンピックのシンボルマーク ◇心を結ぶ水引 ◇火焰型土器 装飾に込めた願い ◇生活を豊かにする食の文化 ◇書体をデザインにする仕事 ◇自然が教えてくれるもの ◇美術鑑賞を広げる言葉 	<ul style="list-style-type: none"> 6箇所 ◇スケッチを重ねて描く ◇「好きな動き」を突き詰める ◇津波から命を守るデザイン ◇誰もがスポーツを楽しむために ◇手づくりのあかりがともす希望の光 ◇東西をつなぐ道 シルクロード 	<ul style="list-style-type: none"> 5箇所 ◇曲は色彩、作詞はデッサン ◇新しい「書体」は次々生まれている! ◇仙台七夕まつりと故郷復興プロジェクト ◇気になるところを見つけたら ◇話してつなげて深めよう 	<ul style="list-style-type: none"> 【上】5箇所 ◇表現することは生きることへの問い ◇目を隠してつくった愛犬 ◇写真の発明を表現としての美術 ◇新しい要望から生まれるピクトグラム ◇家族の一員を目指したロボット 【下】8箇所(※12箇所) ◇大人になってみると一番必要なのは美術だった ◇美を生み出す科学レオナルドの挑戦 ◇ピカソの表現 ◇失われた文化財・史跡を再現するVR,AR ◇アイヌと沖縄の衣服 ◇思いを結ぶ水引 ◇願いを込めた贈り物 ※(列車のデザインは旅の舞台) ※(自然の材料が演出する癒しの空間) ※(人を幸せにするのがデザイナーの仕事) ◇社会に生きる美術の力 ※(いろいろな心の絵がもたらすこと) ※(日常の中で感情を磨いていく) ※(過程を楽しむ姿勢が創造を生む)

教科・種目名 美術 調査研究事項

調査項目		9 開隆堂	
		【1年】	【2・3年】
自ら課題を見だし、必要な情報を収集し、課題解決していく学習過程について配慮されているか。	主体的に学習を進めるための工夫	<p>活動のねらいや題材名の工夫についての記述の工夫</p> <p>◇話し合い活動を通じて、発想や構想を広げたり、問題を解決したりする活動を、「学習のポイント」や見出しを挙げて示されている。</p> <p>◇活動のねらいや思考するヒントを端的に示す題材名が設定されている。</p> <p>◇資質・能力の三つの柱に基づいて、「学びの目標」が三つに分けて示されている。</p> <p>◇絵や彫刻、デザインや工芸の2つの分野に見開きの導入ページを設け、活動のねらいを理解し見通しを持ちながら主体的に取り組めるよう工夫がされている。</p> <p>◇共同制作や友だちとの関わりを持ちながら進められる設定がされている。</p>	<p>◇話し合い活動を通じて、発想や構想を広げたり、問題を解決したりする活動を、「学習のポイント」や見出しを挙げて示されている。</p> <p>◇活動のねらいや思考するヒントを端的に示す題材名が設定されている。</p> <p>◇資質・能力の三つの柱に基づいて、「学びの目標」が三つに分けて示されている。</p> <p>◇絵や彫刻、デザインや工芸、鑑賞の3つの分野ごとに見開きの導入ページを設け、活動のねらいを理解し見通しを持ちながら主体的に取り組めるよう工夫がされている。</p> <p>◇共同制作や友だちとの関わりを持ちながら進められる設定がされている。</p>
	学習を振り返り、次の学びにつなげる視点の記述	<p>◇題材の目標を明確に示すことで生徒が学習を振り返り、次の学びへの意欲や関心が持てるよう工夫されている。</p>	<p>◇題材の目標を明確に示すことで生徒が学習を振り返り、次の学びへの意欲や関心が持てるよう工夫されている。</p>
	深い学びの実現のための工夫	<p>◇全般にわたり表現や鑑賞の多様な題材で構成されており、造形的な見方・考え方を働かせながら資質・能力を相互に関連させて働くよう工夫されている。</p> <p>◇知識を関連付けたり、課題解決に向けて考えたりする思考を促す問いかけが多く設定されている。</p> <p>◇作品に添えられた言葉からも多様な視点があることが分かり、生徒が自らの主題を生み出し表現と鑑賞を往還させながら、必要な情報を収集し、その実現という課題解決に向けて思考錯誤できるよう配慮されている。</p>	<p>◇全般にわたり表現や鑑賞の多様な題材で構成されており、造形的な見方・考え方を働かせながら資質・能力を相互に関連させて働くよう工夫されている。</p> <p>◇知識を関連付けたり、課題解決に向けて考えたりする思考を促す問いかけが多く設定されている。</p> <p>◇作品に添えられた言葉からも多様な視点があることが分かり、生徒が自らの主題を生み出し表現と鑑賞を往還させながら、必要な情報を収集し、その実現という課題解決に向けて思考錯誤できるよう配慮されている。</p>
	創造性を尊重する態度の形成と知的財産権、肖像権等についての記述	<p>◇資料ページ「美術館を楽しむ」「美術館に行こう」において、鑑賞マナーについて記述されている。</p>	<p>◇資料ページ「映像メディアを活用する」において、肖像権と著作権について記述されている。</p>

38 光村		116 日文	
【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
<p>◇各題材の最初に鑑賞図版を掲載し、主体的に鑑賞し対話が生まれるような問いかけが示されている。</p> <p>◇活動のねらいや思考するヒントを端的に示す題材名が設定されている。</p> <p>◇題材の目標は2つに分けて示されている。</p> <p>◇題材ごとに学びの流れが明確にされており主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</p> <p>◇見開きの導入ページ「美術って何だろう」「美術で学ぶこと」「デザインって何だろう」を設け、活動のねらいを理解し見通しを持ちながら主体的に取り組めるよう工夫がされている。</p>	<p>◇各題材の最初に鑑賞図版を掲載し、主体的に鑑賞し対話が生まれるような問いかけが示されている。</p> <p>◇活動のねらいや思考するヒントを端的に示す題材名が設定されている。</p> <p>◇題材の目標は2つに分けて示されている。</p> <p>◇題材ごとに学びの流れが明確にされており主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</p>	<p>◇題材は多様な生徒が興味・関心を持つことができるように、様々な発想のきっかけから活動に取り組めるものになっている。</p> <p>◇活動のねらいや思考するヒントを端的に示す題材名が設定されている。</p> <p>◇資質・能力の三つの柱に基づいて、「学びの目標」が三つに分けて示されている。また、題材名に副題を設定している。</p> <p>◇絵や彫刻、デザインや工芸、鑑賞の3つの分野ごとに見開きの導入ページを設け、活動のねらいを理解し見通しを持ちながら主体的に取り組めるよう工夫がされている。</p>	<p>◇題材は多様な生徒が興味・関心を持つことができるように、様々な発想のきっかけから活動に取り組めるものになっている。</p> <p>◇活動のねらいや思考するヒントを端的に示す題材名が設定されている。</p> <p>◇資質・能力の三つの柱に基づいて、「学びの目標」が三つに分けて示されている。また、題材名に副題を設定している。</p>
<p>◇題材の目標を明確に示すことで生徒が学習を振り返り、次の学びへの意欲や関心が持てるよう工夫されている。</p>	<p>◇題材の目標を明確に示すことで生徒が学習を振り返り、次の学びへの意欲や関心が持てるよう工夫されている。</p>	<p>◇題材の目標を明確に示すことで生徒が学習を振り返り、次の学びへの意欲や関心が持てるよう工夫されている。</p> <p>◇「造形的な視点」が明示され、活動の振り返りにも活用できるよう工夫されている。</p>	<p>◇題材の目標を明確に示すことで生徒が学習を振り返り、次の学びへの意欲や関心が持てるよう工夫されている。</p> <p>◇「造形的な視点」が明示され、活動の振り返りにも活用できるよう工夫されている。</p>
<p>◇全般にわたり表現や鑑賞の多様な題材で構成されており、造形的な見方・考え方を働かせながら資質・能力を相互に関連させて働くよう工夫されている。</p> <p>◇知識を関連付けたり、課題解決に向けて考えたりする思考を促す問いかけが多く設定されている。</p> <p>◇作品に添えられた言葉からも多様な視点があることが分かり、生徒が自らの主題を生み出し表現と鑑賞を往還させながら、必要な情報を収集し、その実現という課題解決に向けて思考錯誤できるよう配慮されている。</p>	<p>◇全般にわたり表現や鑑賞の多様な題材で構成されており、造形的な見方・考え方を働かせながら資質・能力を相互に関連させて働くよう工夫されている。</p> <p>◇知識を関連付けたり、課題解決に向けて考えたりする思考を促す問いかけが多く設定されている。</p> <p>◇作品に添えられた言葉からも多様な視点があることが分かり、生徒が自らの主題を生み出し表現と鑑賞を往還させながら、必要な情報を収集し、その実現という課題解決に向けて思考錯誤できるよう配慮されている。</p>	<p>◇全般にわたり表現や鑑賞の多様な題材で構成されており、造形的な見方・考え方を働かせながら資質・能力を相互に関連させて働くよう工夫されている。</p> <p>◇知識を関連付けたり、課題解決に向けて考えたりする思考を促す問いかけが多く設定されている。</p> <p>◇作品に添えられた言葉からも多様な視点があることが分かり、生徒が自らの主題を生み出し表現と鑑賞を往還させながら、必要な情報を収集し、その実現という課題解決に向けて思考錯誤できるよう配慮されている。</p>	<p>◇全般にわたり表現や鑑賞の多様な題材で構成されており、造形的な見方・考え方を働かせながら資質・能力を相互に関連させて働くよう工夫されている。</p> <p>◇知識を関連付けたり、課題解決に向けて考えたりする思考を促す問いかけが多く設定されている。</p> <p>◇作品に添えられた言葉からも多様な視点があることが分かり、生徒が自らの主題を生み出し表現と鑑賞を往還させながら、必要な情報を収集し、その実現という課題解決に向けて思考錯誤できるよう配慮されている。</p>
<p>◇資料ページ「さまざまな描き方」のカラー・ジュ部分において、著作権について記述されている。</p>	<p>◇資料ページ「写真や映像を撮影する」において、肖像権と著作権について記述されている。</p>	<p>◇オリエンテーション「この教科書を学ぶ皆さんへ・目次」において、著作権について記述されている。</p>	<p>◇オリエンテーション「この教科書を学ぶ皆さんへ・目次」、資料ページ「動画をつくる」において、著作権について、「動きを生かして印象的に」において肖像権について記述されている。</p>

教科・種目名 美術 調査研究事項

調査項目		9 開隆堂	
		【1年】	【2・3年】
自ら課題を見だし、必要な情報を収集し、課題解決していく学習過程について配慮されているか。	美術や美術文化への様々な関わり方の記述	<ul style="list-style-type: none"> ◇紙でつくる ◇焼き物でつくる ◇木を暮らしに生かす ◇祭りの造形 ※伝統を生かしつつ現代の生活に合わせて使われている様子を、事例を挙げて示されている。 ◇国宝・重要文化財はマークが表記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇場と形の響き合い ◇金の表現、墨の表現 ◇琳派のデザイン性 ◇浮世絵、庶民の楽しみ ◇美術がつなぐ世界と日本 ◇織る、編む、組む ◇生活に生きる伝統工芸 ◇伝統と創造 ◇日本の伝統色と配色文化 ※伝統を生かしつつ現代の生活に合わせて使われている様子を事例を挙げて示されている。 ◇国宝・重要文化財はマークが表記されている。
	美術館・博物館等の活用や連携を図る事例	<ul style="list-style-type: none"> 資料ページ ◇美術館を楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ◇リノベーション、使い続ける工夫

38 光村		116 日文	
【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
<ul style="list-style-type: none"> ◇材料に命を吹き込む ◇デザインって何だろう ◇生活をいろどる文様 ◇気持ちを伝えるデザイン ◇形や材料を比べてみよう ◇生活の中の焼き物 ◇木と親しむ暮らし 	<ul style="list-style-type: none"> ◇環境とともに生きる彫刻 ◇メッセージを伝える ◇分かりやすく情報を伝える ◇みんなのためのデザイン ◇季節感のある暮らしを楽しむ ◇明かりがつくる空間 ◇さまざまな椅子のデザイン ◇地域の魅力を伝える 資料ページ ◇地域と美術とのつながり 	<ul style="list-style-type: none"> ◇見方や感じ方を広げよう ◇人の暮らしを豊かに ◇広がる模様の世界 ◇文字っておもしろい ◇印象に残るシンプルマーク ◇折って、切って、巻いて ◇わくわくコミュニケーション ◇暮らしの中の木の工芸 ◇暮らしに息づく土の造形 ◇自然の美しさから生まれた ◇祭りを彩る造形 資料ページ ◇日常の中の美術 	<ul style="list-style-type: none"> 【上】 ◇構図に思いをのせて ◇文化の出会いがもたらしたもの ◇手から手へ受け継ぐ ◇季節を楽しむ心 ◇ジジジチカピカポッポッパッ ◇ひと目で伝えるための工夫 ◇その一枚が人を動かす ◇つくって味わう工芸 ◇暮らしやすさのデザイン ◇デザインで人生を豊かに ◇憩いを生み出す場所 資料ページ ◇暮らしに息づくパブリックアート 【下】 ◇形と色彩で生命感を表現した建築家ガウディ ◇私の色みんなの色 ◇魅力を伝えるパッケージ ◇心がほっとなごむもの ◇人が生きる社会と未来 ◇笑顔が生まれる鉄道デザイン 資料ページ ◇日本の世界文化遺産
<ul style="list-style-type: none"> ◇風神雷神ー受け継がれる日本の美 資料ページ ◇美術館を楽しもう 	<ul style="list-style-type: none"> 資料ページ ◇日本の世界文化遺産 	<ul style="list-style-type: none"> ◇屏風、美のしかけ 資料ページ ◇美術館へ行こう 	<ul style="list-style-type: none"> 【下】 ◇仏像に宿る心 ◇どこまで修復すべきか

教科・種目名 美術 調査研究事項

調査項目			9 開隆堂	
			【1年】	【2・3年】
自ら課題を見だし、必要な情報を収集し、課題解決していく学習過程について配慮されているか。	[生活(1年)／生活や社会(2・3年)]の中の美術の働きや美術文化に関する鑑賞	美術の働きに関する鑑賞の題材	◇あったらいいなを形に ◇機能と美しさの調和	◇生活に生きる伝統工芸 ◇伝統と創造
		美術文化に関する鑑賞の題材	◇伊藤若冲の世界 ◇祭りの造形	◇金の表現、墨の表現 ◇琳派のデザイン性 ◇美術がつなぐ世界と日本

38 光村		116 日文	
【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
◇生活をいろいろ文様 ◇木と親しむ暮らし ◇形や材料を比べてみよう ◇文字で楽しく伝える ◇印象に残るシンボルマーク ◇気持ちを伝えるデザイン ◇生活の中の焼き物 ◇木と親しむ暮	◇様々な椅子のデザイン ◇心安らぐ場をつくる ◇分かりやすく情報を伝える ◇みんなのためのデザイン ◇メッセージを伝える ◇地域の魅力を伝える ◇明かりがつくる空間	◇広がる模様の世界 ◇文字っておもしろい ◇印象に残るシンプルマーク ◇折って、切って、巻いて ◇わくわくコミュニケーション ◇暮らしの中の木の工芸 ◇暮らしに息づくパブリック ◇祭りを彩る造形 ◇日常の中の美術	【上】 ◇あなたの美を見つけて ◇構図に思いをのせて ◇手から手へ受け継ぐ ◇季節を楽しむ ◇ジジジチカピカポッポッパッ ◇ひと目で伝えるためのデザイン ◇その一枚が人を動かす ◇暮らしやすさのデザイン ◇デザインで人生を豊かに ◇憩いを生み出す場所 ◇暮らしに息づくパブリック 【下】 ◇私の色みんなの色 ◇魅力を伝えるパッケージ ◇心がほっとなごむもの ◇人が生きる社会と未来 ◇笑顔が生まれる鉄道デザイン
◇世界の仮面と出会う	◇環境とともに生きる彫刻 ◇墨で描く楽しさ ◇絵巻物と漫画の表現 ◇日本の伝統工芸 ◇北と南の民族衣装	◇屏風、美のしかけ ◇暮らしに息づく土の造形 ◇祭りを彩る造形	【上】 ◇水と筆を操る ◇浮世絵はすごい ◇文化の出会いがもたらしたもの ◇絵巻物の世界 【下】 ◇漫画の魅力 ◇仏像に宿る心 ◇日本の世界文化遺産 ◇仏像の種類

教科・種目名 美術 調査研究事項
別表5

調査項目	9 開隆堂	
	【1年】	【2・3年】
発展的な学習内容が、どのように取り扱われているか。	◇現代的な諸課題(環境や地域文化・伝統文化など)に対応する題材を多く掲載することで、生徒の持続可能な社会への関心や主体的な取り組みを促すよう配慮されている。	◇現代的な諸課題(環境や地域文化・伝統文化など)に対応する題材を多く掲載することで、生徒の持続可能な社会への関心や主体的な取り組みを促すよう配慮されている。 ◇デザイン分野においてSDGsに触れ、持続可能な開発のためにデザインが果たす役割について考えられるように工夫されている。

38 光村		116 日文	
【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
◇現代的な諸課題(環境や地域文化・伝統文化など)に対応する題材を多く掲載することで、生徒の持続可能な社会への関心や主体的な取り組みを促すよう配慮されている。 ◇SDGsとの関連を考慮した題材がある。	◇現代的な諸課題(環境や地域文化・伝統文化など)に対応する題材を多く掲載することで、生徒の持続可能な社会への関心や主体的な取り組みを促すよう配慮されている。 ◇SDGsとの関連を考慮した題材がある。	◇現代的な諸課題(環境や地域文化・伝統文化など)に対応する題材を多く掲載することで、生徒の持続可能な社会への関心や主体的な取り組みを促すよう配慮されている。	◇現代的な諸課題(環境や地域文化・伝統文化など)に対応する題材を多く掲載することで、生徒の持続可能な社会への関心や主体的な取り組みを促すよう配慮されている。 ◇デザイン分野においてSDGsに触れ、持続可能な開発のためにデザインが果たす役割について考えられるように工夫されている。

教科・種目名 美術 調査研究事項
別表6

調査項目	9 開隆堂	
	【1年】	【2・3年】
小学校図画工作科・高等学校芸術科等との関連について配慮されているか。	◇オリエンテーション「図画工作から美術へ」と「学びの地図」で、小学校からのつながりを示している。	◇最後のページ「未来に向かって」で、美術の学びを生かして、心豊かな生活へつなげる視点を示している。
他教科・特別の教科・道徳等との関連について配慮されているか。	カリキュラム・マネジメントを示す記述 ◇学びの地図 ◇あったらいいなを形に	◇絵や彫刻で学ぶこと ◇鑑賞で学ぶこと ◇デザインと工芸で学ぶこと
キャリア教育との関連を示す記述	オリエンテーション ◇学びの地図 ◇形と色彩のメッセージ ◇模様のデザイン ◇ロゴマークで印象づける	◇リノベーション・使い続ける工夫 ◇美術で世界と向き合う
中学校技術・家庭との関連を示す記述	◇よみがえる材料 ◇模様のデザイン ◇ロゴマークで印象づける ◇機能と美しさの調和 ◇焼き物をつくる ◇木を暮らしにいかす 資料ページ ◇紙や木を切る・削る	◇美術がつなぐ世界と日本 ◇空間を快適に生きると ◇明かりの形 ◇型から生まれる形 ◇織る、編む、組む ◇生活に生きる伝統工芸 ◇リノベーション、使い続ける工夫 資料ページ ◇金属や石を加工する 映像にメディアを活用する アニメーションの技法

38 光村		116 日文	
【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
◇オリエンテーション「うつくしい！」と「美術って何だろう？」、「デザインって何だろう？」で、小学校からのつながりを示している。	◇最後のページ「うつくしい！」で、自己の美意識や価値観の形成につながる視点を示している。	◇オリエンテーション「中学校美術の世界へようこそ」で、小学校からのつながりを示している。	【下】◇最後のページ「あなたへ 明日への巣立ち」で、卒業以降も美術の学びを生かして成長していく視点を示している。
教科とのつながり ◇古典文学と屏風絵 ◇エッセイの敷詰め模様 ◇漢字の成り立ち ◇火焰型土器 装飾に込めた願い ◇生活を豊かにする食の文化 ◇自然が教えてくれるもの ◇美術鑑賞を広げる言葉	教科とのつながり ◇コピーを考える	◇学びの広がりや知識のつながりにも配慮され、教科等と横断して取り組みができるように工夫されている。	◇学びの広がりや知識のつながりにも配慮され、教科等と横断して取り組みができるように工夫されている。
◇自然の形や色を見つめて(何度も草花と向き合って) 資料ページ ◇さまざまな描き方(絵本作家 エリック・カールの表現) ◇文字をデザインする(書体をデザインする仕事)	◇風景に思いを重ねて(スケッチを重ねて描く) ◇躍動感を捉える(「好きな動き」を突き詰める)	オリエンテーション ◇美術との出会い(学びの言葉 曲は色彩、作詞はデッサン) 資料ページ ◇発想・構想の手立て	【下】 オリエンテーション ◇学びの探究と未来(学びの言葉 大人になって考えてみると一番必要なのは美術だった) ◇笑顔が生まれる鉄道デザイン(インタビュー 水戸岡鋭治さん) 巻末ページ ◇社会に生きる美術の力
◇生活をいろいろ文様 ◇形や材料を比べてみよう ◇生活の中の焼き物 ◇木と親しむ暮らし 資料ページ ◇木でつくる	◇季節感のある暮らし ◇明かりがつくる空間 ◇さまざまな椅子のデザイン 資料ページ ◇写真や映像を撮影する ◇映像で広がる世界 ◇金属でつくる ◇日本の伝統工芸 ◇北と南の民族衣装	◇広がる模様の世界 ◇暮らしの中の木の工芸 ◇暮らしに息づく土の造形 資料ページ ◇材料を知ろう ◇木工の技法	【上】 ◇手から手へ受け継ぐ ◇季節を楽しむ ◇ジジジチカピカポッポッパッ ◇つくって使って味わう工芸 資料ページ ◇木でつくる ◇金属でつくる 【下】 ◇私の色みんなの色 ◇心がほっとなごむもの 資料ページ 受け継ぐ伝統と文化 ◇布を染める ◇動画をつくる

教科・種目名 美術 調査研究事項

調査項目		9 開隆堂	
		【1年】	【2・3年】
他教科・特別の教科 道徳等との関連につ いて配慮されている か。	特別の教科 道徳との関連を 示す記述	◇見ることからの発見 ◇心ひかれる風景 ◇生命力を感じて ◇私にとってつくること ◇あったらいいなを形 に ◇形と色彩のメッセー ジ ◇ロゴマークで印象づ ける ◇焼き物をつくる ◇紙でつくる ◇祭りの造形	◇風景が語るもの ◇自分と向き合う ◇ゴッホの自画像 ◇想像の世界を表す ◇形と色彩が織りなす イメージ ◇この場所、この場面 ◇場と形の響き合い ◇生命感のあふれる表 現 ◇浮世絵、庶民の楽し み ◇造形表現のパワー ◇主題を決めるロマン 主義 ◇デザインや工芸で学 ぶこと ◇ピクトグラフとサイン 計画 ◇ポスターで伝えること ◇錯視の効果を生かし て ◇誰にでも分かりやす く伝える ◇パッケージで魅力を 伝える ◇安心と安全のデザイン ◇織る、編む、組む ◇木でつくる遊びの形 ◇生活に生きる伝統 工芸 ◇伝統と創造 ◇美術の力を生かして 社会とかかわる ◇ゲルニカで伝えたか ったこと ◇共に学ぶ美術
	他教科との関連を示す記述	◇見ることからの発見 (理科) ◇心ひかれる風景(社 会) ◇伊藤若冲の世界 (理科・社会) ◇私にとってつくること (国語) ◇あったらいいなを形 に(社会) ◇形と色彩のメッセー ジ(特別活動) ◇模様のデザイン(理 科) ◇紙でつくる(社会) ◇祭りの造形(社会・ 理科)	◇風景が語るもの(社 会) ◇ゴッホの自画像(社 会) ◇想像の世界を表す (国語) ◇この場所、この場面 (国語) ◇物語を伝える絵巻 物の世界(国語・社 会) ◇浮世絵、庶民の楽し み(国語) ◇美術がつなぐ世界と 日本(社会) ◇造形表現のパワー (社会)

38 光村		116 日文	
【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
◇人のしぐさを捉える ◇風神雷神-受け継 がれる日本の美 ◇生活をいろいろ文様 ◇印象に残るシンボル マーク ◇気持ちを伝えるデザ イン ◇木と親しむ暮らし ◇世界の仮面と出会う	◇レオナルドとその時 代 ◇墨で描く楽しさ ◇北斎からゴッホへ ◇ジャポニズム ◇環境とともに生きる 彫刻 ◇絵巻物と漫画の表 現 ◇思い出を形に ◇今の自分、これか らの自分 ◇ゲルニカ、明日への 願い ◇メッセージを伝える ◇分かりやすく情報を 伝える ◇みんなのためのデザ イン ◇季節感のある暮らし を楽しむ ◇地域の魅力を伝える ◇心安らぐ場をつくる	◇人間っておもしろい ◇墨と水の出会い ◇美のトラベル ◇絵の中をよく見ると ◇暮らしの中の期の工 芸 ◇自然の美しさから生 まれた ◇祭りを彩る造形	【上】 ◇動き出しそうな 動 物たち ◇◇ ◇文化の出会いがもた らしたもの ◇手から手へ受け継ぐ ◇季節を楽しむ心 ◇つくって使って味わ う工芸 ◇暮らしやすさのデザ イン ◇デザインで人生を豊 かに ◇憩いを生み出す場 所 【下】 ◇今を生きる私へ ◇仲間との交流の中か ら ◇ルネサンスが目指し たもの ◇あの日を忘れない ◇仏像に宿る心 ◇どこまで修復すべき か ◇心がほっとなごむも の ◇人が生きる社会と未 来 ◇笑顔が生まれる鉄道 デザイン
◇古典文学と屏風絵 (国語) ◇ ◇文字で楽しく伝える (国語) ◇生活の中の焼き物 (社会) ◇形の世界を知ろう (理科) ◇美術鑑賞を楽しむ 手がかり(国語)	◇レオナルドとその時 代(国語) ◇メッセージを伝える (国語) ◇海を越えた文化交 流(社会) ◇美術史年表(社会) ◇日本の伝統工芸 (社会) ◇日本の文化遺産 (社会)	◇文字っておもしろい (国語) ◇広がる模様の世界 (数学) ◇自然の美しさから生 まれた(理科) ◇遠近感を表す(数 学) ◇自然界や身の回りに ある形や色彩(理科) ◇美のタイムトラベル (社会) ◇曲は色彩、作詞は 「デッサン」(音楽) ◇折って、切って、巻 いて(特別活動)	【上】 ◇日本の伝統の色(国 語) ◇浮世絵はすごい(社 会) ◇日本美術と世界の 美術の歩み(社会) 【下】 ◇どこまで修復すべき か(国語・特別活動) ◇ルネサンスが目指し たもの(社会) ◇仏像に宿る心(社会 ・特別活動) ◇人が宿る社会と未来 (社会)

教科・種目名 美術 調査研究事項

調査項目		9 開隆堂	
		【1年】	【2・3年】
他教科・特別の教科 道徳等との関連につ いて配慮されている か。	他教科との関連を示す記述	◇色を選ぶ 色を知る (理科)	◇祈りの造形、仏像の 美(社会・特別活動) ◇ルネサンス、人間の 発見(社会) ◇主題を決めるロマン 主義(社会) ◇光をとらえる印象派 (社会) ◇デザインや工芸で学 ぶこと(社会) ◇ピクトグラムとサイン 計画(社会) ◇ポスターで伝えること (国語) ◇錯視の効果を生かし て(数学) ◇誰にでも分かりやす く伝える(数学) ◇パッケージで魅力を 伝える(数学) ◇本の形で表現しよう (国語・社会) ◇安心と安全のデザイ ン(保健体育) ◇型から生まれる形 (社会) ◇美術の力を生かして 社会とかかわる(社会) ◇ゲルニカで伝えたか ったこと(社会) ◇美術で世界と向き合 う(社会) ◇リノベーション、使 い続ける工夫(社会) ◇私たちの社会と美術 (社会) ◇美術の歴史と交流 (社会) ◇暮らしに生きる美術 (特別活動) ◇空間を快適に生き 生きと(特別活動) ◇共に学ぶ美術(特別 活動)

38 光村		116 日文	
【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
			◇仲間との交流の中か ら(音楽・特別活動) ◇今を生きる私へ(特 別活動) ◇イメージを追い求め て(特別活動) ◇仏像の種類(特別 活動)

教科・種目名 美術 調査研究事項
別表7

調査項目		9 開隆堂		
		【1年】	【2・3年】	
作品例、その他の資料、ページ構成等がどのように取り扱われているか。	作品例等の資料の取扱い	生徒作品の数	◇64点	◇84点
		美術作品の数	◇71点	◇228点
		取り上げられている作家	◇アントニ・ガウディ ◇アンドリュウ・ワイエス ◇ウィリアム・モリス ◇エドガー・ドガ ◇エミール・アントワーヌ・ブールデル ◇サム・フランシス ◇ジオ・ボンティ ◇ジョコ・アヴィアント ◇ジョセフ・アルバース ◇ダニ・カラヴァン ◇デヴィッド・ホックニー ◇ニキ・ド・サンファル ◇ルーシー・リー ◇ルシアン・デイ ◇ロバート・ハインデル ◇安藤騎虎 ◇栗田穰崇 ◇安藤榮作 ◇伊藤若冲 ◇岡部昌生 ◇加守田章二 ◇葛飾北斎 ◇岸田劉生 ◇橋本彰一 ◇はしもとみお ◇熊谷守一 ◇桂ゆき ◇高村光雲 ◇高村光太郎 ◇佐藤オオキ ◇山本伸二 ◇森正洋 ◇森田千晶 ◇青木野枝 ◇石黒宗磨 ◇草間彌生 ◇大野友資 ◇田中一村 ◇藤浩志 ◇富田菜摘 ◇片岡球子 ◇峯田義郎 ◇柳原義達 ◇淀川テクニク	◇M.C.エッシャー ◇NAKED ◇アルフォンス・ミュシャ ◇アルベルト・ジャコメッティ ◇アンディ・ウォーホル ◇アントニオ・ガウディ ◇アンドレア・マンテーニャ ◇アンリ・カルティエ＝ブレッソン ◇アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック ◇イサム・ノグチ ◇イシュトヴァーン・オロス ◇ヴァシリイ・カンディンスキー ◇ウィリアム・ターナー ◇ウジェーヌ・ドラクロワ ◇エドワール・マネ ◇エミール・ガレ ◇オーギュスト・ルノワール ◇オーギュスト・ロダン ◇オラファー・エリアソン ◇カスパー・ダーヴィット・フリードリッヒ ◇ギュスターヴ・カイユボット ◇ギュスターヴ・クールベ ◇グランド・ウッド ◇クロード・モネ ◇ゲルハルト・リヒター ◇サルヴァドール・ダリ ◇サンドロ・ボッティチェリ ◇ジェームズ・マクニール・ホイッスラー ◇ジャン＝フランソワ・ミレー ◇ジュリアーノ・ヴァンジ

38 光村		116 日文	
【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
◇96点	◇62点	◇87点	◇【上】53点 ◇【下】57点
◇99点	◇134点	◇70点	◇【上】95点 ◇【下】86点
◇アルベルト・ジャコメッティ ◇アンディ・ウォーホル ◇アンドリュウ・ワイエス ◇アンリ・マティス ◇アンリ・ルソー ◇エドワール・ムンク ◇エマ・ジュリアーニ ◇エマニュラ・フラッティエーニ・マグナッソ ◇エリック・カール ◇オーギュスト・ルノワール ◇カイ・フランク ◇キム・ユジン ◇クリストファー・ドレッサー ◇クロード・モネ ◇ティボール・カルマン ◇デボラ・バターフィールド ◇パウル・クレー ◇パブロ・ピカソ ◇ポール・セザンヌ ◇マウリッツ・コルネリス・エッシャー ◇メアリー・カサット ◇ヨハネス・フェルメール ◇ルーシー・リー ◇ロバート・サブダ ◇ヴァシリイ・カンディンスキー ◇皆川明 ◇柿木原政広 ◇吉田博 ◇金城次郎 ◇元永定正 ◇佐々木一弘 ◇佐藤卓 ◇佐藤忠良 ◇三沢厚彦 ◇山下清 ◇山口蓬春 ◇鹿兒島睦 ◇漆原正行	◇SANAA(妹島和世、西沢立樹) ◇Tupera tupera(亀山達矢, 中川敦子) ◇さくらももこ ◇アドリアン・ガルデーニ ◇アルネ・ヤコブセン ◇アレクサンダー・カルダー ◇アントニオ・ガウディ ◇イサム・ノグチ ◇インゴ・ギュンター ◇エドガー・ドガ ◇エドヴァルド・ムンク ◇エミール・ガレ ◇エリオット・アーウィット ◇エル・アナツイ ◇オーギュスト・ルノワール ◇オーギュスト・ロダン ◇クロード・モネ ◇グスタフ・ヴィーゲラン ◇サルヴァドール・ダリ ◇サンドロ・ボッティチェリ ◇ジェームズ・アンソール ◇ジェームズ・ダイソン ◇ジャクソン・ポロック ◇ジョゼッペ・アルチンボルト ◇ジョット・ディ・ボンドーネ ◇ジョルジュ・スーラ ◇チームラボ ◇チエザーレ・パオリニ ◇テルイエ・エクストレム ◇ディエゴ・ベラスケス ◇デヴィッド・ホックニー	◇伊藤博敏 ◇M.C.エッシャー ◇ウィリアム・モリス ◇エミール・ガレ ◇オラファー・エリアソン ◇ノーマン・ロックウェル ◇ハヤテノコウジ ◇ピエール・ボナール ◇ピエール＝オーギュスト・ルノワール ◇フィンセント・ファン・ゴッホ ◇フレデリック・レデッカー ◇メアリー・ステイブソン・カサット ◇ヨハネス・フェルメール ◇リサ・ラーソン ◇レオナルド・ダ・ヴィンチ ◇永井一正 ◇横尾忠則 ◇岡本光市 ◇河井寛次郎 ◇久山一枝 ◇高塚和則 ◇佐藤晃一 ◇佐藤忠良 ◇三谷基 ◇三谷龍二 ◇小佐原孝幸 ◇新里明士 ◇森本仁 ◇薪苗滋 ◇西元佑貴 ◇西塚涼子 ◇川崎誠二 ◇祖父江慎 ◇大西重成 ◇男鹿和雄 ◇東山魁夷 ◇東洲斎写楽 ◇白江龍三	◇M.C.エッシャー ◇minim++ ◇Tupera tupera(亀山達也・中川敦子) ◇アイトウン・ブユクタス ◇アドルフ・ムーロン・カッサンドル ◇アルベルト・ジャコメッティ ◇アレイ・ドーマー ◇アンディ＝ゴールズワージー ◇アンディ・ウォーホル ◇アントニ・ガウディ ◇アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック ◇イサム・ノグチ ◇ウジェーヌ・ドラクロワ ◇エス・デブリン ◇エドヴァルド・ムンク ◇エドガー・ドガ ◇エミール・ガレ ◇エルネスト・ネット ◇エンドレ・ペノペック ◇オーギュスト・ロダン ◇オラファー・エリアソン ◇カナレット ◇グスタフ・クリムト ◇クリスト ◇クロード・モネ ◇コンスタンティン・ブランクーシー ◇ザドック・ベン＝デイヴィッド ◇サルヴァドール・ダリ ◇サンティアゴ・カラトラバ ◇サンドロ・ボッティチェリ ◇ジャン＝フランソワ・ミレー ◇ジャン＝ミシェル・バスキア ◇ジャン・ロレンツォ・ベルニーニ

教科・種目名 美術 調査研究事項

調査項目		9 開隆堂	
		【1年】	【2・3年】
作品例、その他の資料、ページ構成等がどのように取り扱われているか。	作品例等の資料の取扱い	取り上げられている作家	◇和田恭侑
			◇ジョアン・ミロ ◇ジョージア・オキーフ ◇ジョバンニ・アントニオ・カナレット ◇ダミアン・ハースト ◇チェ・ジョンファ ◇テオドール・ジェリコ ◇ドウッチ ◇トマス・ジョーンズ ◇ナウイン・ラワンチャイクン ◇ナム・ジュン・パイク ◇ニコラ・ド・スタール ◇ニコラス・ブレックマン ◇パブロ・ピカソ ◇フィンセント・ファン・ゴッホ ◇フェルナンド・ボテロ ◇フランク・ステラ ◇フリーダ・カーロ ◇ブルーノ・ムナリー ◇ポール・ゴーギャン ◇ポール・セザンヌ ◇ますむらひろし ◇マックス・エルンスト ◇マルセル・デュシャン ◇ミケランジェロ・ブオナローティ ◇モーリス・ユトリロ ◇モーリス・ルイス ◇ヨシタケシンスケ ◇ラファエロ・サンティ ◇ルネ・マグリット ◇ルネ・ラリック ◇レイモン・サヴィニャック ◇レオナルド・ダ・ヴィンチ ◇レンブラント・ファン・レイン ◇ロイ・リキテンスタイン ◇安田侃 ◇安田靱彦 ◇伊藤樹里 ◇井上涼 ◇羽海野チカ ◇運慶 ◇益田大祐 ◇円空 ◇円山応挙 ◇奥村土牛 ◇横山操 ◇横山大観 ◇横尾忠則

38 光村		116 日文	
【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
◇柴田文江 ◇狩野元信 ◇酒井抱一 ◇小黒三郎 ◇小林孝太郎 ◇松田徹 ◇松本竣介 ◇森正洋 ◇神谷利男 ◇須田悦弘 ◇大治将典 ◇大竹伸朗 ◇田中一光 ◇禿真哉 ◇奈良美智 ◇内之倉彰 ◇南部真有香 ◇尾形光琳 ◇俵屋宗達 ◇木龍歩美 ◇野老朝雄 ◇鈴木マサル ◇鈴木功 ◇鈴野浩一 ◇脇阪克二 ◇濱田庄司	◇トニー・クラッグ ◇ドメニコ・ギルランダイオ ◇ハッリ・コスキネン ◇パウル・クレー ◇パブロ・ピカソ ◇ピーター・オプスヴィック ◇ピーテル・ブリューゲル ◇ピエト・モンドリアン ◇ピエロ・ガッティ ◇フィンセント・ファン・ゴッホ ◇フランク・ステラ ◇フランコ・テオドーロ ◇フランソワ・ポンポン ◇ヘリット・トーマス・リートフェルト ◇ヘレン・ジャルフベック ◇マ・ヤンソン ◇マウリッツ・コルネリス・エッシャー ◇マックス・ダナワン ◇マルセル・デュシャン ◇ミケランジェロ・ブオナローティ ◇ヤン・ファン・エイク ◇ヨーガン・レール ◇ラファエロ・サンツィオ ◇ルネ・マグリット ◇レオナルド・ダ・ヴィンチ ◇レンブラント・ファン・レイン ◇ロイ・リキテンスタイン ◇ロン・ミュエク ◇粟津潔 ◇安藤忠雄 ◇伊藤若冲 ◇横尾忠則 ◇岡本太郎 ◇歌川広重 ◇葛飾北斎 ◇岸田劉生 ◇岸本真之 ◇岸本齊史 ◇寄藤文平 ◇亀倉雄策 ◇金子吉幸 ◇剣持勇 ◇古賀春江 ◇高橋重樹	◇尾形光琳 ◇俵屋宗達 ◇富田菜摘 ◇福田平八郎 ◇堀宏治 ◇名嘉睦稔 ◇野田弘志 ◇野老朝男 ◇矢島光 ◇鈴木康広	◇ジャンヌ＝クロード ◇ジョコ・アヴィアント ◇ジョルジョ・デ・キリコ ◇チームラボ ◇デイヴィット・ホックニー ◇ディエゴ・ベラスケス ◇トゥーラ・ヒルデン ◇ドゥッチョ・ディ・ブオニンセーニャ ◇パブロ・ピカソ ◇ハンス・ヘンドリクス ◇ピエール・キャロー ◇ピオ・ディアス ◇フィンセント・ファン・ゴッホ ◇フランク・ステラ ◇フリーダ・カーロ ◇フリーデンスライヒ・フンデルトヴァッサー ◇ベン・シャーン ◇ヘンリー・ムーア ◇ポール・クリスチャンセン ◇ポール・ゴーギャン ◇マ・ヤンソン/MADアーキテクト ◇マルセル・デュシャン ◇ミケランジェロ・ブオナローティ ◇ヨハネス・フェルメール ◇ラファエロ・サンツィオ ◇ルネ・マグリット ◇ルネ・ラリック ◇レオナルド・エルリッヒ ◇レオナルド・ダ・ヴィンチ ◇レンブラント・ファン・レイン ◇ロバート・スミッソン ◇粟津潔 ◇安田侃 ◇安藤忠雄 ◇運慶 ◇永井秀幸 ◇横山大観 ◇岡本太郎 ◇歌川広重 ◇歌川国芳 ◇河口佳介 ◇外尾悦郎 ◇葛飾北斎 ◇丸山応挙 ◇丸木位里・俊

教科・種目名 美術 調査研究事項

調査項目			9 開隆堂	
			【1年】	【2・3年】
作品例、その他の資料、ページ構成等がどのように取り扱われているか。	作品例等の資料の取扱い	取り上げられている作家		◇岡本太郎 ◇歌川広重 ◇歌川国芳 ◇垣内貞夫 ◇葛飾応為 ◇葛飾北斎 ◇関本明子 ◇喜多川歌麿 ◇亀倉雄策 ◇菊池信孝 ◇さくらももこ ◇宮本承司 ◇橋之口幹夫 ◇橋本夕紀夫 ◇駒形克己 ◇桑田卓郎 ◇古賀春江 ◇戸谷成雄 ◇幸田千依 ◇荒木飛呂彦 ◇高田哲司 ◇黒田清輝 ◇坂茂 ◇三岸節子 ◇山本正道 ◇四代田辺竹雲斎 ◇寺嶋裕二 ◇手塚治虫 ◇狩野永徳 ◇狩野山楽 ◇狩野山雪 ◇酒井抱一 ◇十四代今泉今右衛門 ◇小岩井カリナ ◇小沢剛 ◇小田野直武 ◇小堀進 ◇松本竣介 ◇上村松園 ◇清原啓子 ◇青木克世 ◇石本藤雄 ◇雪舟等楊 ◇仙厓義梵 ◇川上澄生 ◇増永明子 ◇大小島真木 ◇谷俊幸 ◇池田学 ◇中村信喬 ◇中野大介 ◇長沢芦雪 ◇長谷川久蔵 ◇長谷川潔 ◇長谷川等伯

38 光村		116 日文	
【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
	◇高橋由一 ◇黒田清輝 ◇佐藤卓 ◇坂本直行 ◇坂茂 ◇三沢厚彦 ◇山崎和也 ◇山村浩二 ◇柴田文江 ◇手塚治虫 ◇狩野内膳 ◇小倉遊亀 ◇小畑多丘 ◇松本竣介 ◇神谷準一 ◇須藤玲子 ◇水木しげる ◇水野学 ◇青山剛昌 ◇青木繁 ◇青木野枝 ◇石川泰信 ◇草間彌生 ◇増永明子 ◇村上隆 ◇池田学 ◇長沢芦雪 ◇長谷川等伯 ◇津上みゆき ◇東洲斎写楽 ◇藤森健次 ◇奈良美智 ◇尾形光琳 ◇尾田栄一郎 ◇菱川師宣 ◇俵屋宗達 ◇武田美貴 ◇福田繁雄 ◇北岡明佳 ◇牧谿 ◇末次由紀 ◇柳澤潤 ◇鈴木マサル ◇鈴木康広 ◇齋藤精一 ◇高山辰雄		◇岸田劉生 ◇喜多川歌麿 ◇亀倉雄策 ◇宮島達雄 ◇古賀春江 ◇高橋由一 ◇高村光太郎 ◇黒田清輝 ◇佐藤オオキ ◇佐藤卓 ◇三沢厚彦 ◇志村ふくみ ◇止利仏師 ◇勝部翔太 ◇小田野直武 ◇小野竹喬 ◇松田権六 ◇松本寛庸 ◇新海誠 ◇深澤直人 ◇水戸岡鋭治 ◇杉浦非水 ◇星野道夫 ◇雪舟等楊 ◇曾谷朝絵 ◇草間彌生 ◇村上隆 ◇丹下健三 ◇池田学 ◇中ハシクシゲ ◇中井精也 ◇中村好文 ◇鳥羽僧正 ◇東山魁夷 ◇東洲斎写楽 ◇藤子・F・不二雄 ◇奈良美智 ◇日向武史 ◇日高恵理科香 ◇八重樫亮 ◇尾形乾山 ◇尾形光琳 ◇本濃研太 ◇末次由紀 ◇茂本ヒデキチ ◇林要 ◇溪斎英泉 ◇蔡國強

教科・種目名 美術 調査研究事項

調査項目		9 開隆堂		
		【1年】	【2・3年】	
作品例、その他の資料、ページ構成等がどのように取り扱われているか。	作品例等の資料の取扱い	取り上げられている作家	<ul style="list-style-type: none"> ◇定朝 ◇田中一光 ◇渡辺航 ◇東洲斎写楽 ◇棟方志功 ◇藤岡亜弥 ◇藤田嗣治 ◇奈良美智 ◇馬遠 ◇馬場拓也 ◇白髪一雄 ◇尾形乾山 ◇尾形光琳 ◇菱川師宣 ◇菱田春草 ◇俵屋宗達 ◇武内直子 ◇服部一成 ◇福田繁雄 ◇平野由記 ◇北村辰夫 ◇本阿弥光悦 ◇魔夜峰央 ◇名和晃平 ◇木下晋 ◇林家たい平 ◇鈴木春信 ◇廣村正彰 ◇澁谷克彦 	
		その他の資料	<ul style="list-style-type: none"> ◇文京学院大学 ◇JR 	
作品例、その他の資料、ページ構成等がどのように取り扱われているか。	美術史年表	日本の美術作品の数	◇無	◇27点
		海外の美術作品の数	◇無	◇36点
	ユニバーサルデザインの視点に基づいた表記	◇機能と美しさの調和	<ul style="list-style-type: none"> ◇ピクトグラムとサイン計画 ◇錯視の効果を生かして ◇誰にでも分かりやすく ◇安心と安全のデザイン ◇空間を快適に生き生きと 	

38 光村		116 日文	
【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
◇無	◇25点	◇無	◇【上】27点 ◇【下】無
◇無	◇28点	◇無	◇【上】26点 ◇【下】無
◇「デザインって何だろう」 ◇「形や材料を比べてみよう」	◇「分かりやすく情報を伝える」 ◇「みんなのためのデザイン」 ◇「さまざまな椅子のデザイン」 ◇「心安らぐ場をつくる」	◇無	【上】 ◇ひと目で伝えるための工夫 ◇暮らしやすさのデザイン ◇デザインで人生を豊かに ◇憩いを生み出す場所 【下】 ◇心がほっとなごむもの ◇人が生きる社会と未来 ◇笑顔が生まれる鉄道デザイン

教科・種目名 美術 調査研究事項

調査項目		9 開隆堂	
		【1年】	【2・3年】
<p>どのように取り扱われているか。作品例、その他の資料、ページ構成等が</p>	折り込みページの事例	<p>オリエンテーション ◇発見と創造 ◇学びの地図</p> <p>◇伊藤若冲の世界</p> <p>資料ページ ◇色を学ぶ 色を知る ◇美術館を楽しむ</p>	<p>オリエンテーション ◇探究と継承</p> <p>◇日本らしさ①物語を伝える絵巻物の世界 ◇日本らしさ②金の表現 墨の表現 ◇日本らしさ③琳派のデザイン性 ◇美術で世界と向き合う</p>
	二次元コード等の事例	◇技法動画のほか、題材ごと作品例や資料、美術館へのリンク、作家のインタビュー映像など、表現や鑑賞を充実させる支援が工夫されている。	◇技法動画のほか、題材ごと作品例や資料、美術館へのリンク、作家のインタビュー映像など、表現や鑑賞を充実させる支援が工夫されている。

38 光村		116 日文	
【1年】	【2・3年】	【1年】	【2・3年】
<p>オリエンテーション ◇うつくしい！ ◇美術って何だろう？</p> <p>◇「版であらわす楽しさ」 ◇【特別展示室】「風神雷神—受け継がれる日本の美」</p> <p>資料ページ ◇「色や形の特徴を知ろう」 ◇「美術館を楽しもう」 ◇「美術鑑賞を楽しむ手がかり」</p>	<p>オリエンテーション ◇うつくしい！</p> <p>◇レオナルドとその時代」 ◇「北斎からゴッホへ」 ◇「絵巻物と漫画の表現」 ◇【特別展示室】「ゲルニカ, 明日への願い」</p> <p>資料ページ ◇美術史年表</p>	<p>オリエンテーション ◇アニメーションの背景画から風景を見つめ直して ◇折り曲げて味わう屏風、美のしかけ ◇色彩の基本・仕組み</p> <p>資料ページ ◇日常の中の美術</p>	<p>【上】 オリエンテーション ◇多彩な表現に挑むのはなぜだろう</p> <p>◇浮世絵はすごい</p> <p>【下】 オリエンテーション ◇時代を超えて美を探求する思い</p> <p>◇あの日を忘れない</p>
◇技法動画のほか、鑑賞の作品解説や、360度から立体を鑑賞できるもの、全国の生徒の作品など、表現や鑑賞を充実させる支援が工夫されている。	◇技法動画のほか、鑑賞の作品解説や、360度から立体を鑑賞できるもの、全国の生徒の作品など、表現や鑑賞を充実させる支援が工夫されている。	◇技法動画のほか、鑑賞の作品解説や、360度から立体を鑑賞できるものなど、表現や鑑賞を充実させる支援が工夫されている。	◇技法動画のほか、鑑賞の作品解説や、360度から立体を鑑賞できるものなど、表現や鑑賞を充実させる支援が工夫されている。